#### 第2章 森町の景観に関する現況と課題

## 3. エリアや軸ごとの景観現況

エリアや軸のまとまりに沿って景観の区分を行い、それぞれの現況を整理します。

森町都市計画マスタープランに示したまちづくりの考え方を実現していく森町立地適正化計画には、エリア区分とその施策が示されています。これらの上位関連計画に位置付けられているエリア設定や、土地利用(自然、集落、都市)、ネットワークの状況等を踏まえ、地域的な景観のまとまりを整理します。

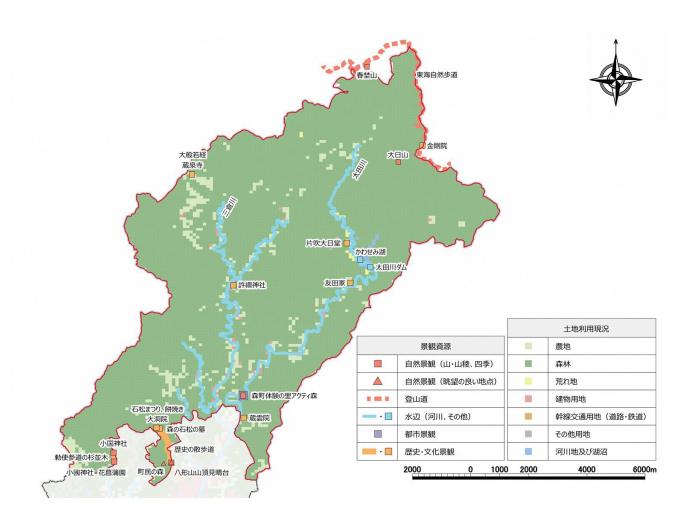
## ■ エリア等の設定の考え方

エリア等の設定	根拠	主な景観要素	他計画との整合
(1) 自然形成エリア	・町の背景となる自然地エリア	自然景観、集落景観、都	都市計画区域外
		市景観、歴史·文化景観	
(2) 田園集落エリア	・優良な農地を保全し、自然環境や営農環境と調和を図りつ	集落景観、自然景観、歴	森町立地適正化計画
	つ、居住環境の継承を図るエリア	史・文化景観	
(3) 産業振興エリア	・まちの活力を維持する工業団地として、今後も良好な操業	都市景観	森町立地適正化計画
	環境を維持するエリアや、県の"ふじのくに"のフロンテ		
	ィア等と連携し、新東名高速道路を 活 かした産業等の誘		
	致が期待されるエリア		
	※ 立地適正化計画のエリア区分に合わせるため、"ふじ		
	のくに"のフロンティア対象地域とは一致しません。		
(4) 暮らしと歴史が	・住宅や多様な生活利便施設が集積、歴史や文化などの昔な	都市景観、歴史・文化景	森町立地適正化計画
集積するエリア	がらの営みが集積するエリア	観	(まちなか居住促進区
			域+周辺居住区域)
(5) 主要な河川・	・森町の骨格である太田川や幹線道路((都) 森町袋井イン	自然景観、集落景観、都	森町都市計画
道路区域	ター通り線、(主) 袋井春野線、(主) 掛川天竜線) の区域	市景観、歴史·文化景観	マスタープラン

# ■ エリア等区分図 ■ 立地適正化計画におけるエリア区分 (出典: 森町立地適正化計画) 凡例 まちなか居住促進区域 (=都市機能誘導区域) (=居住誘導区域) エリア等区分 周辺居住区域 自然形成エリア 田園集落エリア 産業振興区域 田園集落区域 暮らしと歴史が集積するエリア 都市計画区域 (=立地適正化計画の対象区域) 骨格をなす主要な河川・道路区域 \_\_\_\_\_ 用途地域界 行政界

## (1)自然形成エリア

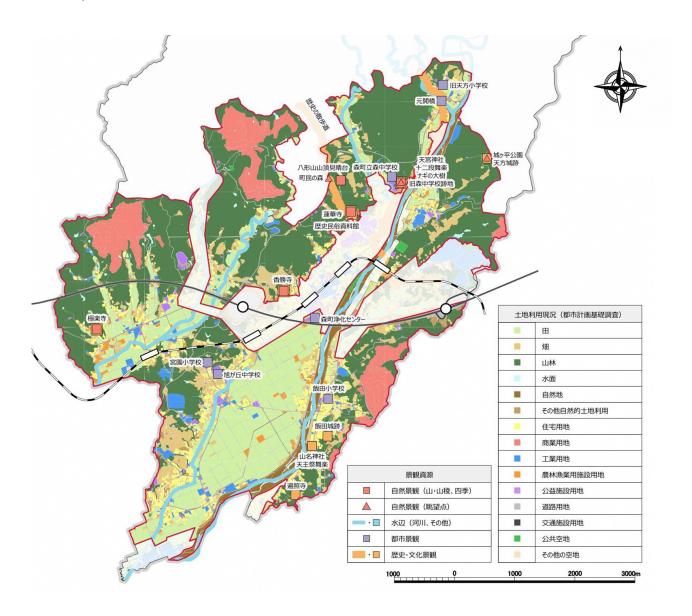
- 自然形成エリアは、森町の特徴である豊かな緑を有するとともに、中山間地に広がる緑豊かな茶園や集落地、かわせみ湖(太田川ダム)や森町体験の里アクティ森、豊かな自然と歴史を感じる東海自然遊歩道など、自然景観や集落景観、都市景観、歴史・文化景観を有する。
  - ・ 赤石山系に属する 春 埜 山 や大日山を始めとする高 峻 な森林による青々とした、また四季によって彩りが変わる豊かな緑の景観、緑と山々に響き渡る鳥の鳴き声などが感じられる景観がある。
  - ・ また、大久保・田能地区などの中山間地の斜面や平地に広がる緑豊かな茶園などの農業の景観は、周辺 の緑や集落地等と一体となって、良好な集落景観を創出している。
  - ・ 森林の中に東海自然歩道が通り、大径木のスギやヒノキから歴史を感じ、山道から富士山や遠州灘を眺望することができる。また、田園集落区域の北部に位置する小國神社周辺は、来訪者を出迎える一宮川の 景色や、和を感じさせる商業施設とそのにぎわい、鳥居前の桜並木など、来訪者を出迎える景観を見ることができる。
  - ・ かわせみ湖(太田川ダム)の周辺は、湖周辺の壮大で豊かな森林などを楽しむことができる公園や遊歩 道などがあり、来訪者を楽しませている。
  - ・ このような北部に広がる森林の緑や、市街地や既存集落地を取り巻く丘陵地や里山、地域に点在する社 寺林等の生活に身近な緑は、市街地及び既存集落地の良好な背景を形成している。



#### 第2章 森町の景観に関する現況と課題

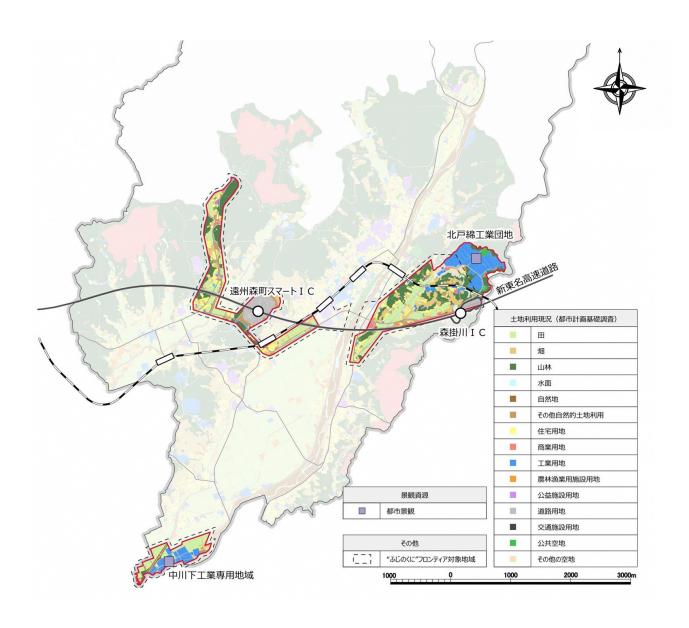
## (2)田園集落エリア

- 田園集落エリアは、広大な農地や集落地と市街地、それを取り巻く自然や歴史など、自然景観、集落景観、 歴史・文化景観を有する。
  - ・ 田畑の周辺に点在する既存集落地等は、農家住宅を主とした建築物や生け垣・屋敷林等と農地や森林な どの周辺環境により、落ち着きのある良好な集落景観を創出している。
  - ・ 特に園田地区などの町の南部に広がるのどかな田園などの農業景観は、周辺の緑や集落地等と一体と なって、森町を感じさせる重要な景観を創出している。
  - ・ このような森町ならではの農業の景観の中で作られる農作物は、四季によって彩りや香りを変え、また 豊かな味わいによって地域の内外の人に愛されている。
  - ・ また、集落地や市街地周辺に位置する城ヶ平公園や町民の森、旧森中学校跡地等は、歴史や自然と触れ合う場・地域コミュニティの場であるとともに、市街地や秋葉山などの良好な眺望景観を得ることができる。



#### (3)産業振興エリア

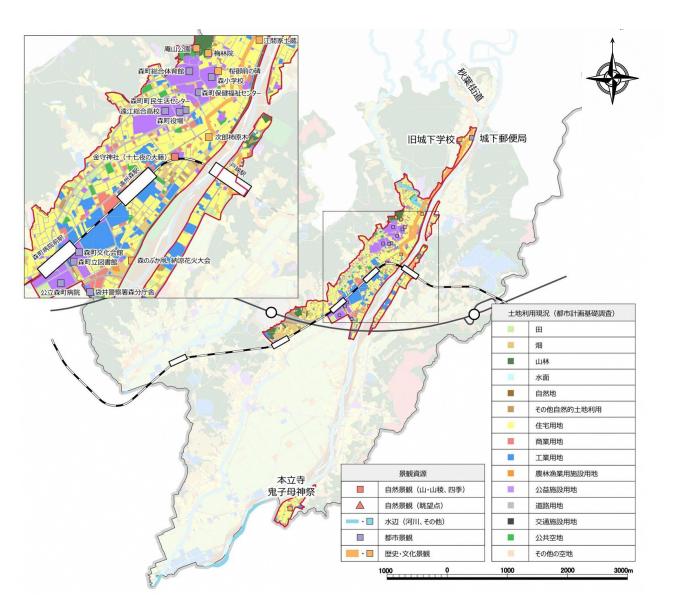
- 産業振興エリアは、まちの活力を維持する工業団地や、県の"ふじのくに"のフロンティア等と連携して\*\* 新東名高速道路を活かした産業等の誘致が期待され、都市景観のうち産業に特化している。
  - ・ 新東名高速道路の森掛川インターチェンジや遠州森町スマートインターチェンジの開設により、新た な工業地の開発が進んでおり、工業地内の緑と周辺の自然が調和する工業地景観が形成されている。
  - ・ さらに、新東名高速道路森掛川インターチェンジ周辺、遠州森町パーキングエリア及びスマートインターチェンジ周辺などの交通結節点は、森町を訪れる観光客等に森町の風景を印象付ける重要な役割を有している。
    - ※ 立地適正化計画のエリア区分に合わせるため、"ふじのくに"のフロンティア対象地域とは一致しません。



#### 第2章 森町の景観に関する現況と課題

## (4)暮らしと歴史が集積するエリア

- 暮らしと歴史が集積するエリアは、用途地域内であり、町の中心として住宅や生活利便施設、歴史や営み を含む文化など、都市景観や歴史・文化景観を有する。
  - ・ 暮らしと歴史が集積する区域では、幹線道路沿いの都市景観や、森地区本町(ほんまち)や城下地区の 歴史・文化景観が見られる。
  - ・ 森地区では、計画的に整備された住宅地において、庭先の緑や街路樹・公園等により、周辺環境と調和 した潤いと落ち着きのある緑豊かな住宅地景観が形成されている。
  - ・ また、市街地に位置する森町文化会館や森町役場など、多くの利用者があり市街地内のランドマークと なる主要な公共施設があり、都市のイメージを形成する重要な役割を有している。
  - ・ 本町(ほんまち)周辺は、信州へ海の幸を運ぶ信州街道"塩の道"の一駅として、また火伏せの神・秋 葉神社への道"秋葉街道"の宿場として栄え、今も蔵や格子戸の家が残り、今でも歴史的な風情が残る。
  - ・ 城下はノコギリの歯のように斜めに建物が立ち並び、移動するごとに移り替わる景観を見ることができる。さらに、このような歴史的な景観の中で日常生活が営まれている。



#### (5)主要な河川・道路区域

- 主要な河川・道路区域は、太田川やその支流である三倉川と(主)袋井春野線・(都)森町袋井インター 通り線は、森町を縦断、(主)掛川天竜線などは森町を横断しており、町の骨格を担う。
  - ・ 太田川~三倉川・(主) 袋井春野線・(都) 森町袋井インター通り線は、南部の広大な農地や幅の広い穏やかな河川景観から、列車や人々が橋を渡り行き交う景観、山々が周囲を囲み始め、川幅が狭くなっていくことで河川と緑が一体となった景観、茶畑や季節によって色彩が変わる山々と集落がセットになった景観など、移動するにつれて移り変わる景観を見ることができる。
  - ・ 太田川の上流部に向かうと、森町体験の里アクティ森でゴルフや森町を楽しむ景観や、かわせみ湖周辺 の自然に囲まれた壮大な眺めなどのにぎわいのあるレクリエーション景観を楽しむことができる。
  - ・ (都)森町袋井インター通り線や(主)袋井春野線、(主)掛川天竜線などの主要な幹線道路は、森町の特徴的な景観である広大な農地や自然を感じることができる沿道景観を有するため、観光客等に森町の風景を印象付ける重要な役割を持っている。また、新東名高速道路からのアクセス性も良く、将来的に新たな施設整備や看板等の立地が考えられ、沿道景観の変容が予想される。

